

第1学年 道徳科学習指導案

令和4年10月20日（木）第5校時

- 1 主題名 友の幸せを願う 内容項目【B 友情、信頼】
- 2 ねらい 主人公の友達を喜ばせようとした行動が想いと違った方向へ進んでしまい、後に引けない葛藤と大切な時を失ってしまった後悔の念について話し合う活動を通して、友達の幸せを願い真に大切にすべきことは何であるかに気づき、友情を培うために行動しようとする態度を育てる。

教材名 最後の思い出 （出典：彩の国の道徳「未来に生きる」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題は、中学校学習指導要領の内容項目B「主として人との関わりに関すること」の〔友情、信頼〕、「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと」をねらいとしている。小学校高学年では、友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくことを学んできた。

真の友情は、相手に対する敬愛の念が根底にあり、相手の人間的な成長と幸せを願い、互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまないという平等で対等な関係である。中学校の段階では、互いに心を許し合える友達を真剣に求めるようになり、心の底から打ち明けて話せる友達を得たいと願う気持ちが高まってくる。しかし、時には自分が傷つかないように、一定の距離をとった関係しかもたないなど複雑な思いにとらわれる場合もある。また、今の時代、直接会わずともSNSを介したコミュニケーションが可能であり、多くの中学生が利用している。便利な反面、表情やニュアンスが上手く伝わらず、SNSがトラブルの原因になっていることも多い。

そこで、本主題を通して、相手のために何か行動を起こすとき、一度立ち止まって、その行動は相手を思う最善なものなのかを考えられる力を身に付けさせたい。また、SNSは便利なツールであるが、大切なことや上手く伝わらない場合は直接言葉で伝えるなど、時と場面で上手に使い分けることが大事ということに改めて気付かせたい。そして、相手への尊敬と幸せを願う思いが大切であることを理解させたい。自ら友情を大切にし、友情を育もうとする態度を育て、友情を培うために自分はどうあればよいか、相手の幸せを願う友情とは何かを考えさせていく。

(2) これまでの学習状況及び生徒の実態について

日頃の学校生活の様子を見ていると、優しい気持ちをもち、友達のために思っている生徒が多

くいる。友達のことを思いながら、様々な場面でクラスをサポートしてくれる姿も見られる。また、合唱祭に向けて全員で気持ちをひとつに練習に励み、クラスの仲がさらに深まった。

しかし、気持ちが優しい生徒が多い反面、優しい気持ちをもちながらも行動に移すことが苦手な生徒や、相手を思った行動が自己中心的な方向へ進んでしまう生徒もいる。また、最近では、SNSでのトラブルも出てきている。

事前アンケートでは、「友達を喜ばせたいと思ったことはあるか」という問いに対し、約9割の生徒が「はい」と回答している。「友達のために何かしてあげたことはあるか」という問いにも、約8割の生徒が「はい」と回答し、実際に行動に移すことができている生徒もいる。しかし、学校生活を見てみると、相手の気持ちを良く考えないで行動している生徒も見かける。

そこで、本時では、友の幸せを願う気持ちを多くの生徒がもっていることを前提に、幸せを願うために本当に大切にすることは何かを考えていく。また、よかれと思って取った行動が相手にとってはそう感じないこともあり、時には深い後悔や悲しみに見舞われることもあることを受け止め、真に大切にすべきものを見極めて行動する態度を育てていきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公「真奈」が親友の潤子が再来週に引越しをするため、友人の智実と結花で「潤子を喜ばせたい」という一心でお別れ会を開こうと提案し、潤子に悟られないよう SNS で3人のグループを作り、やりとりを始める。しかし、潤子にとっては学校で話す機会が減り、そっけない気持ちになっていることを真奈だけに伝える。真奈はそのことを3人のグループで話題に挙げ、休み時間も、もっと潤子と一緒に過ごそう、と提案するが結花には上手く伝わらなかった。潤子との距離感を上手く掴めないまま、お別れ会の準備を進めるが、潤子から引越しが早まったことを告げられる。主人公の行動は喜ばせようとしてとった行動であるが、結果として潤子のためになっていなかったという話である。

主に次の場面を中心に話し合い、ねらいに迫る。

① 潤子が転校することを聞き、サプライズを計画している場面

ここでは、大切な親友を喜ばせたい一心で行動していることに気付かせる。

② 真奈が一人で家へ帰っている場面

ここでは、主人公の行動や心情を共感的に捉えながら、想いと違った方向に進んでしまい後に引けない主人公の気持ちを自分と重ね合わせながら考えられるようにする。また、SNS等の情報機器の使い方により、すれ違いが生じることにも気付かせたい。

③ 「もっと、みんなと話したかった」という潤子の話を聞いた場面

ここでは、取り返しのつかない深い後悔の念に触れ、友達の幸せのために本当に大切にすべきことは何か考えさせたい。

以上のことを踏まえ、「友情、信頼」についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える活動を通して、自己の生き方についての考えを深めたいと考え、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	予想される生徒の発言	・指導上の留意点☆評価の視点
導入	<p>1 アンケートの集計結果を見る。</p> <p>○友達を思うあまり、裏目に出てしまったことはないか。</p>	<p>・友達を喜ばせたい気持ちをもった人が多い。</p> <p>・よかれと思って行動したことが、相手にはそう感じないこともあるかもしれない。</p>	<p>・事前にとったアンケートを提示し、本時のねらいに意識を向けられるようにする。</p> <p>・自分だけが満足していないか考えさせる。</p>
展開	<p>2 本時の課題を確認する。</p> <p>3 教材の読み聞かせを聞き、話し合う。</p> <p>○潤子の告白を聞いたとき、真奈はどんな気持ちだったか。</p> <p>(補助発問)</p> <p>○そのときの潤子の気持ちはどんなだったか。</p>	<div data-bbox="603 703 1385 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>友達を幸せにするために、本当に大切なことは何だろう。</p> </div> <div data-bbox="603 815 1398 1070" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【登場人物】 真奈（主人公）・潤子（親友）・智実・結花</p> <p>【条件・状況】 親友の「潤子」が引っ越しをするため、潤子に悟られないよう友人と SNS でグループを作り、お別れ会の準備を進める。</p> </div> <p>・話の内容で気になった部分に線を引きながら聞く。</p> <p>・本当に言っているの。 ・嫌だ… ・離れるのはさみしい。</p> <p>・お別れはさみしい。 ・残りの時間を大切にしたい。</p>	<p>・「真奈」と「潤子」の関係は親友であることを確認する。</p> <p>・主人公「真奈」の気持ちに寄り添って聞けるように工夫して読み聞かせる。</p> <p>・親友との別れにショックを受けている主人公の気持ちを押さえる。</p> <p>・潤子の気持ちも考えることで、多面的・多角的な視点で考えられるようにする。また、友達のことを本当に思うとはどういうことなのかを考えるきつ</p>

<p>展開</p>	<p>○真奈はどんなことを思いながら、サプライズを計画していたか。</p> <p>○真奈はどんな思いで、一人で家に帰っただろうか。</p> <p>(補助発問)</p> <p>○結花からのメッセージが来なくなってしまったときはどんな気持ちだったか。</p> <p>○「もっと、みんなと話したかった。」という潤子の言葉を聞いて、真奈はどんなことを思ったでしょうか。</p> <p>○友達を幸せにするために大切なことは何だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・潤子を喜ばせたい。 ・親友として出来ることをしよう。 ・本当に潤子のためになっているのかな。 ・潤子を喜ばすはずが、逆に寂しくさせて申し訳ない。 ・どうしよう。 ・嫌な気持ちにさせてしまった。 ・上手く伝えるのは難しい。 ・もっと潤子と話をしておけばよかった。 ・今までの時間を取り戻したい。 ・潤子の本当の気持ちを見ていなかった。 ・友達の思いに気付くこと。 ・自分よがりな考えで行動していないか考えること。 ・分かり合えるまでしっかり話をすること。 ・互いに分かり合うこと。 	<p>かけとなるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潤子を喜ばすために一心に行動していることに気付かせる。 ・潤子を思う一方で、SNSのやりとりにのめり込み、潤子の思いに気付かなかったことを押さえる。 ・潤子のためを思ってやっていたことが、逆に悲しませてしまったことに気付くが、どうしてよいか分からずに思い悩む気持ちを考える。 ・SNSは気持ちが思い通りに伝わらないこともあることに気付けるようにする。 ・取り返しのつかない後悔をしてしまった気持ちを捉えられるようにする。 ・このような結末にならないために、どんなことを大切にしながら、友達と接していけばよいのかについて考え、自分自身の今後の生き方に結び付けられるようにする。 ・個人→グループ→全体で共有し、様々な考えに触れさせる。 <p>☆友達との在り方について、他の生徒の意見を参考に、多面的・多角的に考えている。</p>
-----------	---	---	--

展開	4 どんなことを大切に して友達と接していく かという視点で、今後の 生き方について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と相手の考えは必ずしも一緒ではなく、相手のことをしっかりと考えてから行動することが大切だ。 ・時間は取り戻すことはできないので、後悔しないためにも相手にとって本当に大切なことを見極めていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの行動が相手にとってどう感じていたか改めて考えさせたい。 ☆これまでの体験を振り返りながら、自分との関わりで深く考えている。
終末	5 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・合唱祭に向けて取り組んできた学級のよさを取り上げながら、今後の学校生活でよりよい人間関係を築くために、本当に大切なことを考えて行動してこうという雰囲気で行いたい。

5 他の教育活動との関連

事前指導	各教科においてグループでの話し合いを意図的に取り入れ、友達との関わり合いを増やす。
道徳科	教材名「最後の思い出」 (本時)
事後指導	スキー教室や校外学習などの学校行事を通して、友達との関わりで真に大切にすべきことを見極め行動する態度を育てる。
家庭との連携	内容項目「友情、信頼」について学習したことを学級通信で紹介する。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

友達との在り方について、他の生徒の意見を参考に、多面的・多角的に考えている。

【道徳価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

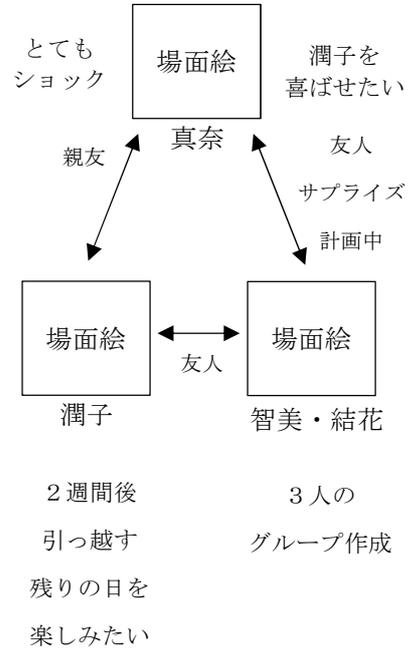
これまでの体験を振り返りながら、自分との関わりで深く考えている。

7 板書計画

友達を幸せにするために、本当に大切なことは何だろう。

友達を幸せにするために、本当に大切なことは？

「もつとみんなと話したかった。」
 という潤子の言葉を聞いて、真奈はどんなことを思っただろうか。



最後の思い出